契（ちぎり）通信VOL.208

２０２３年６月２６日発行
株式会社チキリ　社長室編集

「こなす」に慣れる危険

２５(日)、沖縄で梅雨が明けました。また、関東など本州も梅雨の晴れ間となり、東京では３０℃を越える真夏日を観測しました。

今年は、異常気象に関係するといわれるエルニーニョ現象がほぼ４年ぶりに発生し、今後強力な「スーパーエルニーニョ」に成長する可能性が高くなってきているらしいです。ここ数年各地を襲った大型の台風が今年もやってくるのでしょうか?とても心配です。

さて、日経のスポーツ欄に「サッカー人として」という三浦知良さん(カズ)のコラムがあり、今回マンネリに付いて書かれていました。

『欧州の強豪もＪリーグクラブも日本代表も、外形的な練習手法に大差はない。でも上のレベルの選手ほど、マンネリ的な作業をマンネリで終わらせない意識を持ち合わせている。』

仕事でも、営業マンでお客様からの注文をただこなしているだけの者と、注文頂いた商品の仕様や特徴を1日1つでも勉強しながら対応してる者とでは、１年経つとその両者には大きな差が生じます。しかしこれがなかなかできない。そして優秀な者ほどこれが出来ます。

代表取締役　服部厳一郎

なんだ・かんだ

◆　視覚障がい者向けナビゲーションツール　◆

先日私が属している団体で、ホンダ発スタートアップの第１号である「株式会社 Ashirase(あしらせ)」さんをお呼びして、視覚障がい者向けのナビゲーションシステムを体験する会を開催しました。

あしらせさんは、車のメーカーであるあのホンダ技研工業さんが新事業を創出する為に行っているプログラム「IGNITION（イグニッション）」から社内ベンチャー企業の第１号として設立された会社で、視覚障がい者の方の外出や街中での歩行をサポートする為に、シューズに取り付けるナビゲーションシステム「あしらせ」というデバイスの開発をしている会社です。

具体的には、シューズにセンサー付きの振動デバイスを取付けて、スマホのアプリと連動させ、ＧＰＳの位置情報から視覚障がい者の方に道案内をするシステムで、スマホアプリで行き先を設定すると、シューズに取り付けたデバイスが振動して進行方向を教えてくれます。正しい道順を歩いている時は一定のテンポで振動し、左右に曲がる地点(交差点等)に近づくと曲がる方向の振動が早くなり、振動の位置により進行方向を確認することが出来ます。直進時は足の前方の振動子が振動、右折地点では右側、左折地点では左側の振動子が振動して進むべき方向を知らせてくれます。進行方向を直感的に理解できるため、ルートを常に気にする必要がなくなり、より安全に、気持ちに余裕を持って歩行することが可能になります。

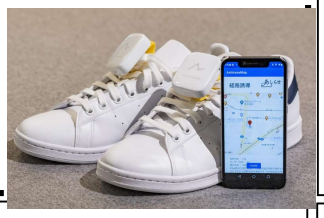
あしらせは今年初めにクラウドファンディングで資金を公募したのですが、開始から 2 日で目標金額の 100%を達成、2 週間で 400%、そして 4 週間で 500%を達成するという大きな反響を得ました。

車の会社であるホンダの本田技術研究所で自動運転システムの開発などに取り組んできたあしらせの CEO である千野歩氏は、「歩くことをモビリティー（移動）と見立てたとき、車の技術が役立つ余地があるのではないか」ということで会社勤めを続けながら、勤務外の時間を使って視覚障がい者向けの道案内デバイスを開発、イグニッションに一度は落ちるも開発を続けて起業に至ったということです。

開発に当たっては、多くの視覚障がい者の方の意見を聞き、視覚障がい者の方は、歩行時は白杖を持つ手からの振動や耳から聞こえてくる周囲の音に神経を集中しているそうで、それらの感覚の邪魔をしないシステムを開発する事に腐心したそうです。

今回体験会を開催した会では、献眼の推進運動や、視覚特別支援学校さんへの寄付などを長く行っている会で、この例会にも視覚支援学校の先生方や生徒さん、そして、市役所の障がい者を支援する担当課の方もお呼びして体験をして頂きました。

あしらせの様な障碍者支援ツールに行政の予算がついて手軽に利用できる様になればと思います。視覚障がい者の方は、一人で自由に旅行したり好きな物を食べに行ったりすることは諦めている方が多いそうです。あしらせを使って、その様なマイナスイメージを無くして、外食や旅行など「行ってみたい場所へ行き、やってみたいことを楽しむことが出来る様になればと思います。



社員ブログ

●　また役員　●

建設部 森 直子

学校の役員、地域の役員と、過去にくじ引き、あみだくじ、じゃんけんで役を決める機会が数回ありました。なんと全部引き当て、そしてまた今年も学校の役員となってしまいました。もう自分でも驚いたり悲しんだりする事もなくなりました。

引いてしまった以上は受けるしかないので各活動に参加しますが、費やす時間も多く大変です。最近のPTAは基本的には強制せず、ボランティアでという考え方に変わってきました。

奉仕作業も「できる人が」という考えから、強制ではなくなりました。仕事が休みであれば私も参加しますが、出勤日の土曜日と奉仕作業が重なるときは、有休をとって参加するべきか、いつも悩みました。

「できる人ができる時に」ということなので、これからは悩まず参加か不参加か決められそうです。

子供のため、と頑張りすぎない適度な活動に今後なっていけばよいなと思います。

今まで担ってきた役は長女の分の役なので、まだまだ次女の分の役が今後も回ってきます。

このくじ運をなんとかしたいです。

■　安全大会　■

6 月 23 日に、当社の安全大会を開催いたしました。沼津管内において令和 5 年 3 月 27 日から 10 日間において、3 件の労災死亡事故が発生いたしました。昨年度は当社においては労災事故は「０」でしたが、本年度も気を引き締めて工事施工に当たらなければいけません。

今年度の大会は 31 社、34 名の協力業者様にご参加を頂き、本年度の安全の重点項目を確認後、「熱中症を回避する」等の DVD によるセミナーを開催いたしまし、その後、今年 1 年間の労災事故・交通事故「０」達成を誓いました。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株　式　会　社　チ　キ　リ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610　Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com　URL http://www.chikiri.com/